

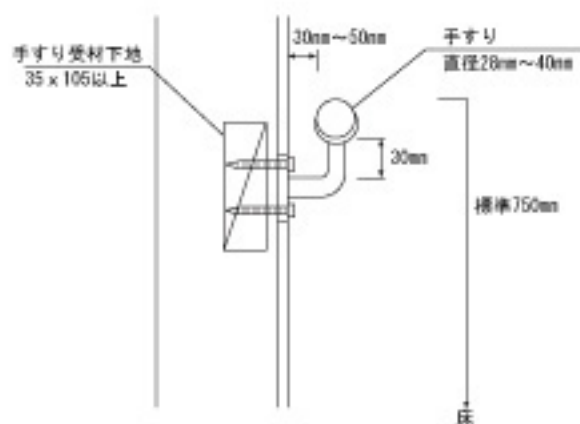
設計上のポイント 住宅金融公庫バリアフリー基準及び推奨項目

(住宅金融公庫バリアフリー住宅基準及び推奨項目)

手すりについて

- 階段の手すりは、最低片側に設置します。手すりの断面形状は、円形とし、直径28mmから40mmの握りやすい太さとし、端部は壁側または下側に曲げます。取り付けは柱・閉結か、補強した受け材等に適切な支持間隔で行います。手すりとの壁の空き寸法は30mmから50mmを標準とします。手すりは連続して設置し、持ち替えが生じる位置での手すり端部間の距離は400mm以下とします。

手すりの形状と設置方法



手すりの端部の曲げ処理



※建築基準法では、階段幅を750mm以上にすることが規定されていますが、運用の改訂により「階段手すり」は、壁からの突出寸法が100mm以下であれば手すりの突出寸法は無視できます。(100mm以上突出する場合は、100mmを超える寸法分を階段の幅から差し引く必要があります。)

階段勾配について

- 踏面の奥行を195mm以上にします。(T≧195mm)
- 勾配は(R/T≦22/21)のゆるやかな勾配にします。
- 踏面寸法に蹴上げ寸法の2倍を加えた数字が550mm以上・650mm以下となるようにします。
(550mm≦2R+T≦650mm) (T踏面寸法、R蹴上げ寸法)

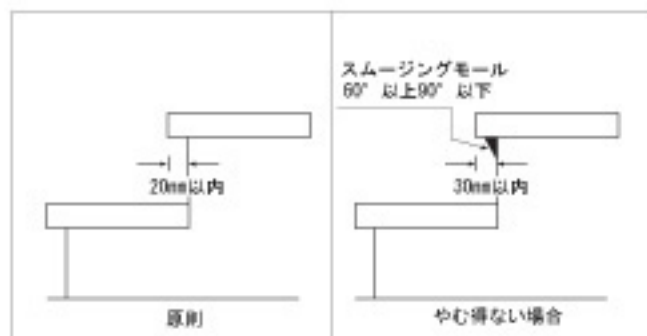
■階段の勾配基準等に基づく踏面寸法及び蹴上げ寸法

踏面寸法	蹴上げ寸法		
	基準寸法 (勾配:22/21以下)	推奨寸法1 (勾配:6/7以下)	推奨寸法2 (勾配:7/11以下)
195m/m	178m/m~204m/m	—	—
200m/m	175m/m~209m/m	—	—
205m/m	176m/m~214m/m	172m/m~175m/m	—
210m/m	181m/m~220m/m	170m/m~180m/m	—
215m/m	185m/m~217m/m	167m/m~184m/m	—
220m/m	189m/m~215m/m	165m/m~188m/m	—
225m/m	193m/m~212m/m	162m/m~192m/m	—
230m/m	198m/m~210m/m	160m/m~197m/m	—
235m/m	202m/m~207m/m	157m/m~201m/m	—
240m/m	—	155m/m~205m/m	—
245m/m	—	156m/m~202m/m	152m/m~155m/m
250m/m	—	160m/m~200m/m	150m/m~159m/m
255m/m	—	163m/m~197m/m	147m/m~162m/m
260m/m	—	166m/m~195m/m	145m/m~165m/m
265m/m	—	169m/m~192m/m	142m/m~168m/m
270m/m	—	172m/m~190m/m	140m/m~171m/m

住宅金融公庫仕様書より抜粋

鼻の出寸法について

- 原則として20mm以内とします。や心を得ない場合は30mm以内とします。20mmを超える場合は、段鼻と蹴上げ板を60°以上90°以下の面で滑らかにつなぎます。



階段形状について

- 階段の形状は、直階段又は、折れ階段とし転落距離が短くなるよう中間には踊り場を設けるようにします。曲がり部分を設ける場合は下記のいずれかとします。

